

## 婦人会

西中根婦人会  
会長 川又 正代記

### ○婦人会主体の行事:

7月 7日:七夕の日に六美会の皆さんを招待しての恒例の「ふれあい会」を実施し、楽しいひと時を過ごしていただきました。

10月 5日:恒例の「お月見会」をお寿司やさんで開催。美味しい食事を前にして、会話で盛り上りました。

12月 23日:しめ飾り作りをしました。皆さんの熱心に作品作りに取り組むことができました。

### ○自治会全体の行事に合わせての活動:

私たち婦人会の担当として、夏まつりでは来賓者の接待やおにぎり模擬店を中心に活動し、そのほか、女性セミナーの方々や子供育成会と手分けし、敬老祝賀会会場と運動会の応援席や懇親会場での支援を行いました。

暮れのしめ飾りつくりは、年の瀬の忙しさもあり参加人数が少なかったが、お互い協力し合って楽しみながら続けていきたいと思っています。



## おやじの反省

西中根おやじの会  
会長 小林 定吉

昨年も沢山のイベントを実施、地域行事も含めて家族友人ワイワイ楽しくコミュニケーションを図ってきました。時折?呑み過ぎて片付けでやらかすこともありますが、そこは真摯に反省し、今年も元気におやじしさを出していきたいと思います。間もなく発足から満4年を迎えますが、昨年は西中根夏祭りに間に合うよう会員Tシャツを揃えお披露目しました。新規会員随時募集中ですので是非一緒に楽しみましょう!

※ホームページ → <http://www.geocities.jp/nishinakane01/>



チョコバナナ&きゅうりの一本漬け販売はいかが



おやじの背中は渋い



秋のBBQ



通りすがりの保険屋さん親子も飛び入り参加

## 第27回歩く会

恒例の歩く会を11月 20日(日)に参加者約170名のもと実施しました。散策コースは自然林が様々に色づく中丸川流域を経て、虎塚古墳に通じる里山の紅葉を見ながらの和気あいあいの散策となりました。虎塚古墳で焼き芋とお茶のもと休憩し、集合写真となりました。参加者は帰路へ途中5ヶ所のチェックポイントで完歩シールを貼ってもらいながら無事に会館に到着しました。

帰着後は豚汁、混ぜご飯、ポップコーン等を参加者で会食して親睦を図り、地域の絆をより一層深めることができました。



## 六美会だより

西中根六美会  
海野 吉輝 記

平成28年後期の各種行事を実施の中で、六美会は高齢者芸能発表大会と高齢者スポーツ大会において勢いがありました。

高ク連会長杯スポーツ大会でペタンク3位、一中地区女性部グランドゴルフ大会では稻橋とみゑさんが優勝、第8回市民ふれあいグランドゴルフ大会では安和男さんが3位入賞でした。また、今回の市長杯高齢者スポーツ大会において、真山弘さんが市長特別表彰を受賞しました。

今回の好成績は、第一回西中根六美会スポーツ大会をいこいの村潤沼荘で開催したこと、普段の練習の積み重ねが成果でした。

9月14日に初めていこいの村潤沼荘で西中根六美会スポーツ大会(グランドゴルフと輪投)を開催した。



六美会混声合唱団



特別表彰の真山弘さん



1回六美会スポーツ大会

## ひろば

## 《健康寿命》

竹取物語のお爺さんは30歳、平安時代は40歳で長寿祝い、江戸時代の三河町の半七は46歳で十手を返上し、平成に入り65歳で高齢者と呼称し、健康寿命が延びていることを照会しています。

私が50歳の時、小学4年生の作文「命屋さん」主文→(運動せずに命屋さんを頼りにする人生って、つまらないよね)を見て、マラソンを始めました。

100歳以上の人人が46年連続で更新していますが、男子の健康寿命は71歳、女子は74歳、その後は日常生活に支障きたす人生です、恐ろしいことです。

しかし悲観は禁物、75歳以上の体力は過去最高水準になり、主な要因は高齢者向けの運動を取り入れていると指摘しています。茨城県は、いち早く取り入れ、その効果が現れていると、学会が発表しています。

西中根自治会も「元気体操」、「いきいき体操」を西中根会館で実施しています、皆さん参加して健康寿命を延ばしましょう。



1班後塙1組

塙 要子



家庭経営で始めた“そば処はなわ”は平成4年に開業し、四半世紀の25年になります。開業当時は、文化会館から東中根に通じるお店の前の道も工事半ばで、お店の前までしかない袋小路の道路環境でしたが、その後道路も開通し、お蔭様で地域の皆さんにご利用いただいております。



開業当時は、主婦業に加え、慣れないお店の切り盛りで、私の時間はとても持てる状況ではありませんでしたが、家業に慣れるにつれ、月1回程度でも女としての趣味の時間を持とうと、2年

前から、ある方の手ほどきを受けながら仲間4人で和の小物を作り始めて写真の作品が出来上がりしました。これからも楽しみながら多くの物を作っていくたいと思います。



## あとがき

○本号のひろばの投稿者は、“自分の生き方”に自問し、柴田さんは生きる意欲と思考をもって日々生活され、また、塙さんは忙しさに屈することなく、ものを作り出す喜びを見出で、一緒に志す友達を作り出しておられる。お二人ともプラス思考の生活をされておられるとは羨ましい限り。



○平成5年からの女性セミナーの“フラワーロード活動”に対して社会福祉功労者表彰を受賞。おめでとうございます。グループ本来の学習活動に加え、長年の「地域ふるさと作り」の活動にエールを送りたい。



○社協のお独り住まいの小域ネット加入者と同支援者との交流会を10月に実施しました。皆さんお元気です。オフサイトセンター見学後、食事会。

○西中根地区には、耕作放棄で雑木林化した空地が2か所あり。周りの居住者が伐採に立ち上りました。海野富男さん、横須賀幸造さんに支援をいただいている。皆さんの応援もお願いします。そして、薪がほしい方は組長さんか、1班-後塙1組の飯島昭夫さんと連絡を取ってください。



○お詫び:広報紙が皆さんのお手元に届くのが次の配布日になりました。あしからず。編集員一同